

エンディングノートの役割

■ あなたの想いを伝えてくれるアイテム

自分の最期を想像したり、考えたりすることは誰にとってもそんなに楽しいものではありません。家族や親族、友人・知人、ペットとの別れは何より辛く、向き合うのには少し勇気が必要でしょう。

しかし、あなたの身に万が一のことがあった時、遺される人たちのことを思ったら……。自分がいなくなってしまった時、家族は悲しんでばかりではいられません。あなたの葬儀には誰を呼べばいいのか、遺産や遺品をどう整理したらいいのかなど、困ってしまうことはないでしょうか？ あなた自身もまた、家族に伝えたいけれど、伝えそびれていることはありませんか？

そんな「気がかり」を解消してくれるのがこのエンディングノートなのです。

■ エンディングノートがなかったら…

- ・会いたい人に会えないまま
 - ・可愛がっていたペットの引き取り手がいない
 - ・家族が相続で争う
- など、意に添わない最期になることも

エンディングノートがあれば…

- ① 希望が叶えられ、心おきなく安眠できる
危篤となり意思疎通が難しくなった時や認知症などで判断能力がなくなった場合、また死後についても、家族があなたの意思を尊重した対応をしてくれることが期待できます。
- ② 家族を戸惑わせたり、困らせることが減る
今後、延命治療の有無や介護が必要になった時の方法、遺産の分け方など、家族が厳しい選択を迫られることもあるでしょう。あなたの意思が書かれたこのノートがあれば、家族の悩みを軽減できるはずです。
- ③ 人生を整理でき、メッセージを遺せる
ノートを書くことで人生を振り返るきっかけにもなります。また、家族や身近な人へのメッセージを綴っておくことで、あなたの自筆による言葉が遺された人たちの心を慰め、生きる力にもなるでしょう。